

インフルエンザの対応について（お願い）

平素は、本校教育発展のために、御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、寒さ厳しき折から今年度もインフルエンザの流行が危ぶまれ、社会全体で十分な対応が望まれる季節となりました。本校におきましても、大きな流行とはならないように万全を期して対応していきたいと考えています。

さらに、平成25年度に引き続き、ホール閉鎖に至る前に、学級またはホームルームの閉鎖を実施し、より未然にインフルエンザの感染を予防できる対策を実施いたしたいと思えます。

つきましては、御家庭でも、お子様の体調変化に御留意いただき、次のことに御協力をお願い申し上げます。

- 御家庭におきまして、次のようなこと健康観察をお願いします。
(1) 鼻水 (2) 鼻づまり (3) せき (4) のどの痛み (5) 発熱 等
- 登校前の体温測定をお願いします。特にバス通学生は、37.5℃以上の場合はバス乗車を控えて頂けますようお願いいたします。
- インフルエンザ様症状が現れたら学校に連絡してください。
お子様のみならず御家族にも症状が現れましたら、速やかに連絡をお願いします。
- 臨時休校等の条件を次のように想定しています。実際には、その時の実情を考慮のうえ、学校医と相談して決定します。

(1) 学級またはホームルームの学習集団で次の人数の発症者が現れた場合

→ 学級またはホームルーム閉鎖7日程度

学級またはホームルームの人数	2	3	4	5	6	7	8
閉鎖にいたる感染者人数	対象外	2	2	2	2	2	3

(2) ホール等のグループで、15%の発症者が現れた場合 → グループ閉鎖7日程度

(3) 4グループ以上が閉鎖となった場合 → 臨時休校7日程度

- 解熱後の登校につきましては、医師の許可を受けてください。
- 咳やくしゃみ等の症状があれば、他者に感染させる恐れがありますのでマスクを御家庭で準備いただけますようお願いいたします。

【インフルエンザ感染者への対応】

感染者への対応

出席停止期間：「発症した（診断された）後5日を経過し，かつ解熱した後3日を経過するまで」

ケース①：発症と診断が同じ日

月	火	水	木	金	土	日
発症・診断日	診断後1日目	診断後2日目	診断後3日目	診断後4日目	診断後5日目	診断後6日目
発症 (診断)	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	解熱後 3日目	診断後6日目 かつ 解熱後3日を経過。 登校可能となる。
出席停止						

ケース②：発症と診断に時差がある場合

土・日曜日に発症。受診が月曜日になり，薬を飲み始める。

登校可能期間であっても，インフルエンザの薬を飲んでいる場合は，登校できません（出席停止）。

土	日	月	火	水	木	金
		診断日	診断後1日目	診断後2日目	診断後3日目	診断後4日目
発症	発熱	受診し 診断される	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	解熱後 3日目
出席停止						

土	日	月	火	水	木	金
診断後5日目						
解熱後3日 を経過して いるが，診 断後5日目 なので登校 は不可。		登校可能				

感染者が発生したクラスへの対応

- ・感染者が発生したクラスは、全体集会等の大人数が集まる行事には参加せず、可能な限りクラス対応（クラス単独の授業）を行う。
- ・感染者が発生した日を含んで、4日間クラス対応します。

月	火	水	木	金	土	日
クラスに インフルエンザ 感染者 発生	潜伏期間・要注意期間			他の児童生徒に発熱等の症状がなく、全員体調がよければクラス対応解除します。		
クラス対応	クラス対応	クラス対応	クラス対応			

☆家族に感染者がいる児童生徒の対応：

その児童生徒のみ，家族の発症日から数えて4日間，個別対応を行います。

週末に発症した場合は・・・

(例) 児童A：土曜日の夜に発熱。

金曜日：咳，発熱等の症状があった → クラス対応
 何も症状がなかった → クラス対応なし

	金	土	日	月	火	水	木	金
児童A への 対応		児童A 発熱 診断	発熱	欠席 発熱	欠席 解熱	欠席 <u>解熱</u> 1日目	欠席 <u>解熱</u> 2日目	欠席 <u>解熱</u> 3日目
クラス への 対応	児童A 症状(+)			<u>クラス対応</u>	<u>クラス対応</u> 他の児童 に疑わし い症状が なければ クラス対応 解除			